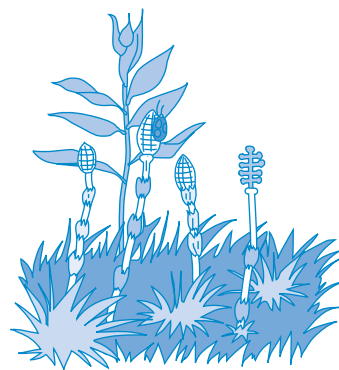


北星学園大学

後援会だより

VOL.113

発行日 2013年6月1日
 発行者 北星学園大学
 後援会事務局
 札幌市厚別区大谷地2
 丁目3番1号 〒004-8631
 電話(011)891-2731
 印刷(社) 北海道リハビリ



新入生を迎えて

— 変わりつつある大学

学長 田村 信一



今年も新入生を迎え、多数の保護者ご参列のもと、四月五日に入学式を挙げる事ができました。入学者は大学院十四名、大学学部九二八名(内編入学二十九)、短期大学部二一〇名です。短期大学部生活創造学科が定員を若干満たすことができず、残念な結果になりましたが、大学全体としては入学定員をかなり上回る入学生を確保することができました。昨年、新設大学の不認可が話題となりましたが、札幌保健医療大学開設の影響が短期大学部に及んでいるように思われます。

さて、昨年は大学開学五十周年を迎え、様々な行事を滞りなく行うことができました。とりわけ、パイプオルガンの新調とチャペルの音響設備のために多額の寄付をいただいた後援会の皆様に感謝申し上げます。今年度から次の五十年に向かって新たな歩みが始まりますが、これまでにもまして大きなご支援をいただけるようお願いいたします。

現在日本の大学は大きな変化のただなかにあります。その変化とは、十八歳人口が急激に減少し、事実上大学全入時代を迎え、生き残りかけた大学間の競争が激になった、という意味だけではありません。新たな自由貿易をめぐるTPP(環太平洋経済連携協定)参加問題が物議を醸しています。が、好むと好まざるとにかかわらず、グローバル化の波が本格的に日本の社会を洗い流しているからです。どちらかといえば、日本の大学は入試難易度によって序列化され、大学に入ることが自己目的となっていました。しかしながらこのような特殊日本の状況は急速に変化しつつあります。就職活動には国内の学生だけでなく、海外の学生も参加するようになり、企業の学生を選ぶ目も厳しくなり、大学における学修の到達度が問題となっています。昨年本学は、千歳科学技術大学を中心として山梨大学、愛媛大学、佐賀大学などとともに文部科学省

の共同教育推進事業に参画しましたが、この事業は、大学の学びでどれだけ力が伸びたのか(学力)を測定する方法を開発することが目的です。このように今日大学は、二年間あるいは四年間で主体的に学修し、その力を社会で生かすことができる卒業生をどれだけ送り出したのか、という観点から評価されるように変わりつつあると思います。

本学は修学指導や就職相談などにおいて、きめ細かな直接的対応に心がけてきました。今日インターネットやメールなどの情報技術の活用は必須のスキルですが、それにも増して直接のコミュニケーションに基づいた人間力の形成は最も大切であり、今後もその涵養に力を注ぎたいと考えています。

学生時代

後援会会長 深澤 秀則



百二十六年の歴史と伝統を脈々と継承している北星学園の大学院、大学、短期大学部に見事合格し、入学した新入学生、及び編入学生の総計一、二五二名の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学式では、田村学長より高等教育としての大学での学ぶ姿勢等、酒井理事長より北星学園の歴史、精神等の話があり、入学生一同改めて、北星学園の一員になったことを実感したと思います。

今、厳しい勉強に明け暮れた受験生時代を終えて、喜びと開放感に満ち溢れた、爽やかな気持ちを味わいながら、高校時代とはあらゆることで天と地ほどの差(授業科目の多様性、一般教養の受講学生数の膨大さ、サークル活動の自主独立等)がある中で、多少の緊張や不安を抱きながらも、期待と夢を持ってキャンパスライフを楽しんでいる時期かと思えます。男子学生も女子学生も、自由と自主性が大いに重んじられ、行動範囲も交友関係も大きく広がる中で、社会の仕組みを知り、人間模様を見聞する機会が増えますが、多方面

に亘る情報が氾濫している現代において、自己本位に物事を解釈、行動しがちですが、同時に自己責任も課せられます。皆さんの高校時代に発生した日本の根底を揺るがしかねなかった東日本大震災からの復興、再生、が本格的に始まっている社会的状況、加えて何年も続く就職難の経済状況、(アベノミクスによる経済政策が皆さんにとって良い方向に向かう事を願っていますが)更に皆さんが入学式を終えて、四十日足らずで、大学生の就職活動の時期が現在の大学三年の十二月に始まるルールが、大学三年生の三月以降となり、二〇一六年卒業予定の現在二年の学生から対象になるという非常に重大な記事が新聞に載っていました。社会の動きを絶えず把握し正確な情報を身に付けながらの学生生活を送る必要

があると思います。大学は昨年開学五十周年を迎え、更に未来へとつながる歩を始めています。短期大学部も現在では道内の短期大学のなかで、屈指の歴史と伝統、実績のある学校として歩んでいます。四年間、二年間は瞬く間に過ぎます。将来を見据えて、自己管理を徹底し、学生時代にしか出来ない経験を、北星学園大学、同短期大学部に入學した目的を忘れることなく、青春を謳歌して下さい。

保護者の皆様には、後援会にご入会いただき御礼申し上げます。後援会として、学生達に「北星学園大学、北星学園大学短期大学部に入學して良かった」と思われる、教育活動援助に誠意誠意努力しますので、大変な社会・経済状況のなか御支援、御協力宜しくお願い致します。

後援会とは？



北星学園大学後援会は、本学在学生のご父母全員と、本学を卒業された方のご父母ならびに本学の同窓生を正会員として構成されており、設立以来今年で29年目になります。

本会の目的は、北星学園大学、短期大学部における教育、研究活動の充実と発展に寄与することであり、「北星学園大学、短期大学部のサポーター」としての活動を行っております。その一例として、図書館への図書等の寄贈、先生方の学術出版補助、国際交流経費補助、学術講演会や学会に対する補助などを行う他、学生各種活動補助については、全国大会に出場する学生に対する補助や学生の就職活動支援、就職セミナー開催、大学祭への援助、奨学金補助、サークル活動で使う器具等の購入などを行っています。

これらの活動の他に、本会は「北星学園大学、短期大学部」とご父母とを結ぶパイプ役として、毎年地区別父母懇談会を開催しており、大学の教職員による本学の教育方針やカリキュラムについての説明、個別に学生の学修状況等について面談を行っています。地区別の父母懇談会は、北海道内7会場(札幌・函館・苫小牧・北見・旭川・帯広・釧路)で開催しております。

後援会が開催する各行事は、ご父母の皆様が北星学園大学、短期大学部について知る良い機会となっておりますので、多くの会員の皆様のご出席をお待ちしております。

なお、『後援会だより』は年4回発行し、大学の情報を皆様のお手元にお届けいたします。また、後援会ホームページでも過去のものをご覧いただけますので、ご覧いただければ幸いです。



入試課長

学 術 出 版 の 紹 介



『海の奇蹟ーモーセ五書論集』

(2012年9月 聖公会出版)

経済学部 山我 哲雄 教授

私は大学ではキリスト教関係の授業を担当していますが、研究者としては、旧約聖書の物語文学を専門としています。30歳頃に最初の学術論文を発表し、最近還暦を迎えましたので、一応は「半生」この道を歩んできたことになります。この度、聖公会出版より、これまでの仕事を論文集の形でまとめてみないかという有難いお誘いをいただき、喜んでお受けすることにしました。また、幸いにも大学後援会の出版助成をいただけたので、本の値段を抑えることができました。心から感謝しています。

今回の書物では、これまで書いた論文のうち、「モーセ五書」に関わるもの11本を選びました。「モーセ五書」は旧約聖書の最初の5冊、「創世記」「出エジプト記」「レビ記」「民数記」「申命記」からなるまとまりを指し、ユダヤ教では「律法(トーラー)」として最も重視されている部分です。伝統的には呼称の通りモーセの著作とされてきましたが、現代の研究では、一人の人間が統一的に書いたものではなく、一部は口承伝説にまで遡り、さまざまな時代にさまざまな人々が少しずつ文書にしたものを後から組み合わせたり加筆したりして出来上がった、かなり複雑な作りのものと考えられています。そのような五書物語の形成経過を段階的に再構成する研究方法を、「伝承史的研究」と言います。本書には、主として伝承史的研究の観点から、アダムとエバ、ノア、アブラハム、モーセと出エジプト、表題にもなった「海の奇蹟」などの物語が、どのように形と性格を変えながら現在ある形にまで発展してきたのかを跡付ける試みが集められています。



『エトノスとトポスで読むアメリカ文学』

(2012年12月 英宝社)

文学部 伊藤 章 教授

なぜこのようなタイトルにしたのか。近年アメリカ文学界を賑わしている、さまざまなエトノス(民族)の出自をもつエスニック作家を主として第1部で扱っているからだ。かくしてアジア系では日系のジョン・オカダとジョイ・コガワ、シンシア・カドハタ、ロイス・アン・ヤマナカ、フィリピン系のカルロス・プロサン、中国系のフランク・チンとショーン・ウォン、韓国系のチャンネ・リー、インド系のバーラティ・ムーカジ、ユダヤ系のナサニエル・ウェスト、イタリア系のジョン・ファンテなど、多様な民族的背景をもつ作家たちを論じた。トポス(場所)という用語を入れたのは、エトノスと脚韻を踏んでいるからという理由だけではない。もともと文学作品とそれが生まれた土地とのつながりに関心を抱いてきたからだ。アメリカの多様な都市や土地を舞台にした地域色の濃い作品をとおり、いつもアメリカの地理的・空間的・民族的な多様性に心を動かされてきたように思う。そこで民族的にも多様なトポスとして、ニューヨークとロサンゼルス of 二大都市、ハワイとカリフォルニアの二州を舞台にした小説を第2部で取りあげた。

このように紹介するとまとまりのない論集に思われるかもしれない。しかし慧眼の士なら、アジア系をはじめとするエスニック・マイノリティはアメリカをホームにできるのかという問題意識が本書の底を流れていることに気付いてくれるだろう。最後に(最少でなく)、出版助成を賜った大学後援会に衷心より感謝申し上げます。

◆ご相談ください◆

～学費納入について～

授業料等学費につきましては、毎年、期限までの納入をお願いしているところですが、学費に関する諸制度についてお知らせいたします。

詳細は今年度のキャンパスガイド四十三頁、及び大学公式ホームページ(<http://www.hokusei.ac.jp>)「保護者の方へ」→「学生生活」→「学費に関するQ&A」をご参照ください。

■各種減免制度

○兄弟姉妹等同時在学減免

兄弟・姉妹等と同時に二名以上が一年を通じて在学されている場合、そのうちお一人以外の方の「教育充実費」及び「後援会費」を全額免除いたします。願出にあたっては、戸籍謄本の添付をお願いしております。財務課までお申し出ください。

○身体・精神障害者減免

学部、大学院又は短期大学部の学生で身体障害者手帳もしくは精神障害者手帳をお持ちの場合は「教育充実費」の二分の一を免除いたします。財務課までお申し出ください。

○修学困難者減免

学費負担者(主として家計を支えている者)の死亡・病氣・自己都合以外の理由での失職(解雇・倒産等)や災害等により経済的に修学が困難になった学部又は短期大学部の学生に対する減免制度です。それぞれの状況により条件が異なりますので、学生支援課までご相談ください。

■学費延納制度

万が一、家計の事情等で期限までの納入が困難な場合は、学費等延納制度により納入期限を延伸することが可能です。財務課までご相談ください。

入学式開催

四月五日の午後一時より、二〇一三年度の入学式がニトリ文化ホールで開催されました。

当日は気持ちの良い青空が広がる中、ご父母の方々も多数出席してください、会場は満席となりました。そのなかで、短大部と大学四学部、大学院を含めた新入生総数一、一五二名が、緊張した面持ちで晴れの日を迎えました。式はオルガンの前奏によつて幕を上げ、一同による讃美歌「いつくしみ深き」の合唱の後、チャプレンが聖書を読み上げ、祈禱を奉げました。次に、学長の式辞があり、理事長から祝辞が贈られ、在学生代表から歓迎の言葉がありました。そして、大学院・大学・短期大学部の各新入生代表から、それぞれ誓いの言葉が述べられました。その後、吹奏楽部とチャペル・クワイアが、谷川俊太郎氏作詞の学歌を披露し、再び一同で讃美歌「真実に清く生きたい」を合唱しました。最後は、チャプ

大学後援会からのプレゼント



卒業生へ

新入生へ

大学後援会では、毎年卒業生、新入生の皆さんに記念品を贈呈しております。2012年度の卒業生には、卒業記念PHOTOBOOKをお贈りいたしました。ゼミ、クラス、サークル集合写真を中心に掲載し、卒業後も母校に対する関心と愛着を持っていただくツールとして製作いたしました。

また、新入生にはUSBメモリをお贈りいたしました。本体には北星学園大学の校章とロゴがデザインされており、まさにオリジナル製品となっています。今後の大学生活において有効にご活用いただければと思います。

校章の形は、ライラックの花びらをシンボリックに表現しており、星のまわりの5つの矢印は、本学の教育方針である人間性、社会性、国際性、そして希望と発展を意味しています。校章にこめられた意味を理解していただき、より充実した大学生活を送っていただければ幸いです。

レンによる祝詞と、オルガンの後奏によつて約一時間の入学式は無事終了いたしました。式を終えた新入生達はほっとした様子で、ご父母の方と楽しそうに会話をしている姿、会場の前で記念撮影をする姿、先輩達のサークルの勧誘に明るい表情で応える姿が数多く見られました。その表情には、これから始まる北星学園大学、北星学園大学の短期大学部の生活に対する、大きな希望が満ちていました。大学生活の中にはたくさんの可能性が広がっていることと、自らの可能性を最大限生かし、そこで得たものが一生の宝物となるように、充実した日々を過ごしていただければ幸いです。



2013年度 行事予定

4月	1日(月) オリエンテーション(～6日)	6月	29日(土) 第1回札幌地区父母懇談会 (3・4年次、短大2年次対象)	10月	12日(土) 大学祭(～15日)
	4日(木) 定期健康診断(～6日)				26日(土) 第2回札幌地区父母懇談会(全学年対象)
	5日(金) 入学式	7月	29日(月) 前期授業終了	12月	31日(木) 宗教改革記念講演会
	6日(土) 履修登録開始(～12日)		30日(火) 前期定期試験(～8月7日)		2日(月) 『後援会だより』第115号発行
5月	8日(月) 前期授業開始	8月	1日(木) 『後援会だより』第114号発行	1月	13日(金) クリスマス礼拝
	2日(木) 学園創立記念日(授業日)		24日(土) 函館地区父母懇談会		20日(金) 年末授業最終日
	13日(月) スミス・ミッション週間(～18日)	9月	25日(日) 苫小牧地区父母懇談会	3月	15日(水) 大学後援会第2回役員会
6月	22日(水) 大学後援会第1回役員会		31日(土) 北見地区父母懇談会		20日(月) 後期授業終了
	1日(土) 大学後援会総会・懇親会		1日(日) 旭川地区父母懇談会	『後援会だより』第116号発行	21日(火) 後期定期試験(～29日)
	『後援会だより』第113号発行		7日(土) 帯広地区父母懇談会		5日(水) 卒業者名簿発表
	7日(金) 体育祭(～9日)		8日(日) 釧路地区父母懇談会		13日(木) 卒業礼拝
			17日(火) 後期授業開始		14日(金) 卒業式
			30日(月) 前期末卒業式		

今年度の地区別父母懇談会は下記の日程で計画しております。懇談会では、大学の情報や、学生の修学状況等についての説明、昼食を取りながらの父母同士の懇談、個別に学生の修学状況(単位修得、学生生活状況、及び就職関係の相談など)ができる個別懇談を実施いたします。

履修している授業科目等がわかる「履修登録票」や「授業科目別出席状況」前年度までの修得単位数とその評価がわかる「成績通知票」などを個別に用意しておりますので、それに基づいて担当教員より説明を聞くことができます。毎年参加された皆様からは大変好評を頂いております。(ただし、個人情報保護に関する法律により、成人となった学生本人が所定の手続

2013年度 地区別父母懇談会のお知らせ

きにより同意しない旨申し出た場合は、修得単位数等、修学状況に関する情報を保証人にお伝えすることができないこともありますので、あらかじめご了承ください。

地区別父母懇談会は北星学園大学後援会の事業の一環で、皆様からの会費により運営しております。多くの会員の皆様のご参加をお待ち申し上げております。

詳細につきましては、六月下旬に別途ご案内させていただきます。また、先に三・四年次(短期大学部)については二年次)のご父母にご案内いたしました六月二十九日(土)札幌での懇談会につきましては、締切(六月十日)が近づいておりますので参加ご希望の方はお忘れなくお申込み願います。

6月29日(土)	札幌会場	北星学園大学校舎(3・4年次、短期大学部2年次対象)
8月24日(土)	函館会場	函館国際ホテル
8月25日(日)	苫小牧会場	グランドホテルニュー王子
8月31日(土)	北見会場	ビッツアークホテル
9月1日(日)	旭川会場	旭川グランドホテル
9月7日(土)	帯広会場	帯広東急イン
9月8日(日)	釧路会場	釧路プリンスホテル
10月26日(土)	札幌会場	北星学園大学校舎(全学年対象)

2013年度

総会・懇親会での就職講演会のご案内

前回号でお知らせした六月一日(土)に大学校舎内にて行われる、北星学園大学後援会総会・懇親会のご案内を申しあげます。総会では後援会事業活動における二〇一三年度活動報告・決算や、二〇一三年度の活動方針・予算等の審議が行われ、終了後には父母向け就職講演会の開催を予定しております。今年度は、就職支援課長の鈴木淳子より、最近の就職活動状況についてお話しさせていただきます。

お子様がこの先どのように就職活動を行っていくべきなのか、不安や興味を持たれているご父母の方も多いと思われますので、ぜひこの機会に大学に足をお運びください。

保護者の皆様へ

『イマドキの就職事情』
企業が求める能力とは

「大学生の就活繰り下げ解禁」との報道が取り上げられています。父母の皆様が就職活動を行った時代には「就職協定」なるものが存在し、ある程度の活動目安がありました。

しかしその協定は十五年ほど前に廃止され、今政府の要請で解禁時期の検討がなされています。

近年の就職活動は、ご自身が就職活動をしてきた時代からは考えられないほど、早期化・長期化かつ複雑化しています。

最近の「シウカツ」事情と、本学の就職支援体制、重要視されている低学年のキャリア支援について、ご説明いたします。

また、企業側の視点や求める人物像を参考に、お子さんのフォローのヒントになればと考えています。

就職支援課長

鈴木 淳子

(学内略歴)
1976年4月 北星学園大学勤務、学務課長、学生課長を歴任
2005年4月から就職支援課長(現在に至る)
(学外での職務及び活動)
2005年5月 全国私立大学就職指導研究会幹事・北海道支部役員(現在に至る)
2008年4月 日本私立大学協会就職委員会委員(現在に至る)



ホストファミリー

短期宿泊プログラム協力ファミリー

大募集!

北星学園大学では交換留学生のホストファミリーを募集しております。受け入れていただくのはアメリカからの留学生ですが、英語は必ずしも条件ではありません。受け入れ期間は1学期(15週間)で、その間の食住費として一定額の補助をさせていただきます。多くの留学生が日本で一番印象に残った体験としてホームステイを挙げています。ホストファミリーとして登録していただきますと、春と秋に受け入れについての照会を大学からさせていただきます。ご都合の良い場合には受け入れをお願いするというシステムになっています。

また、イギリス、カナダ、スペイン、スイス、韓国、台湾、中国、インドネシアとも交換留学しており、これらの交換留学生については、例えば、1泊2日などの宿泊体験プログラムを実施していますので、ご協力いただける場合も募集しております。

皆さんのご家庭でも留学生を迎えて国際交流をしてみませんか?
本学のホームページから国際教育センターのサイトもご覧になれます。ご協力をお願いいたします。

お問い合わせは下記のところまで・・・

北星学園大学 学生支援課 国際教育係

電話(代表) : (011) 891-2731 FAX : (011) 895-2500

ホームページ : <http://www.hokusei.ac.jp/kokusai/>

北星学園大学 教育振興寄付金ご芳名

募金のご協力に深く感謝申し上げます。

二〇一三年一月一日から二〇一三年四月三十日まで

(敬称略)

☆大学・短期大学部

酒井 玲子
平賀 明子

谷 さつき

後藤恵美子

(理事・教職員)

あとがき・・・

涼やかな初夏の訪れを感じられる季節がやってまいりました。新入生たちも大学生活に慣れてきたようで、キャンパス内は活気に満ちています。さて、六月一日に後援会総会・懇親会が、六月二十九日には札幌地区父母懇談会が本学にて開催されます。総会では、施設見学や父母向け就

職講演会も予定しております。また、第一回札幌地区父母懇談会はもちろん、夏からの地区別父母懇談会の方も皆様に満足していただけるよう、準備を進めております。今年度も多くの会員の皆様にお会いできることを楽しみにしております。

(後援会事務局 大野)